

パイプファン 工事説明書

用途	居室用 トイレ用 洗面所用	品番	速結端子付タイプ			
			φ100パイプ用		φ150パイプ用	
			FY-08PT8D FY-08PTA8D FY-08PF8D	FY-12PT8D FY-12PTA8D FY-12PF8D		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⊘ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

■交流100ボルト以外で使わない

火災・感電・けがの原因となります。

火災・感電の原因となります。

分解禁止

禁止

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

■漏水した場合、火災の原因となります。

注意

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなす

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

■落下により、けがをすることがあります。

■落下により、けがをすることがあります。

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

■漏水使用禁止

お願い

- 高温になる場所(周囲温度40℃以上)に取り付けしないでください。製品の変形やモーターの寿命を縮めます。
- 台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所に取り付けしないでください。部品の破損の原因となります。
- 給気口を設けてください。効果的な換気ができません。
- アルミフレキダクトには取り付けしないでください。異音が発生する原因となります。※やむを得ない場合は、本体の取付ばねを取りはずして、必ず付属のねじ(2個)で固定してください。
- パイプファンを石膏ボードに取り付ける場合は、下地木枠または市販の石膏ボード用アンカーを使用してください。天井付けの場合は、必ず木枠を設けてください。振動が発生する原因となります。

■次のような配管工事はしないでください。風量低下や雨水浸入の原因となります。

(1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続パイプ径 (4) 壁埋込パイプを室内側に傾斜させる

各部の名前と寸法

この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。

単位: mm

付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

ねじ(本体裏面に付属)2 (本体固定用)

取付部材

■別売の省施工パイプセットをご使用になることをお勧めします。

適用パイプ(呼び径)	外径	内径	下穴径
FY-PAP041	φ110	φ107	φ110
φ100タイプ	VP100	φ100	φ115
	VU100	φ107	
FY-KP04	φ103	φ100	φ105
φ150タイプ	FY-PAP061	φ157	φ160
	VU150	φ165	φ165
	FY-KP06	φ153	φ155

■このパイプファンは次のパイプに取り付けることができます。

●VPパイプやFY-PAP041, FY-PAP061にパイプファンを取り付けた後、VUパイプには取り付けしないでください。(風漏れ防止のため)

●VP150管は使用しないでください。VP150管にパイプファンの06タイプ(φ150用)が取り付けられない場合があります。

●VPパイプやFY-PAP041, FY-PAP061に取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

■取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工方法 以下の手順に従って施工してください。

イラストはFY-08PT8Dを示します。

1 パイプ・パイプフードの取り付け

壁に取り付ける場合

- ①取り付け場所を決める。「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。
- ②壁に穴(φ10mm)をあけ、電源用電線(VVFφ1.6mmまたはφ2.0mm)を引き出す。
- ③パイプを壁に埋め込む。パイプはかならず取り付け、取り付け壁面にコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないように確実に固定してください。
- ④外壁面には、パイプフード(別売品)または、ベントキャップ(別売品)を取り付ける。

単位: mm

	A	B
φ100タイプ	60	35
φ150タイプ	50	70

■電源用電線の先を図のように加工してください。

■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

■石膏ボードに取り付ける場合は、下地木枠(お願ひ項目のイラスト参照)または市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。特に薄壁(φ100タイプの場合: 壁厚111mm以下、φ150タイプの場合: 壁厚127mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選定してください。

■外風や風雨浸入を防止するため、シャッター付パイプフードの取り付けをおすすめします。

天井に取り付ける場合

- ①取り付け場所を決める。「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。
- ②木枠をつくり野縁に固定する。
- ③ダクト工事をする。
- ④天井に穴(φ10mm)をあけ、電源用電線(VVFφ1.6mmまたはφ2.0mm)を引き出す。
- ⑤外壁面には、パイプフード(別売品)または、ベントキャップ(別売品)を取り付ける。

単位: mm

	A	B
φ100タイプ	60	35
φ150タイプ	50	70

■本体を確実に固定するために必ず木枠を設置してください。

■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。

2 本体の取り付け

壁・天井同様に取り付けます。

- ①ルーバーをはずす。(1) 本体を持ち、ルーバー下面の取っ手に指を引っ掛け、(2) 上へ上げてはずす。
- ②本体裏面の速結端子に、電源用電線を確実に差し込む。ツメに電源用電線をひっかける。
- ③本体をパイプに差し込み固定する。必ず付属のねじ(2個)で固定してください。
- ④ルーバーを本体に取り付ける。(1) ルーバーを本体上部のツメに引っ掛け、突起部(2か所)とルーバー側の穴をあわせる。(2) 壁面に当たるまでおろす。(3) ルーバーが確実に取り付けられているか確認してください。

■壁、傾斜天井に取り付ける場合は、上側表示を上にして取り付けしてください。

■本体と壁面の間にすき間がある場合は、左右に数回まわって押し込んでください。

■付属のねじ2個だけで固定できない場合は、市販品のねじ(推奨ねじ: タッピングねじ(φ4×35 1種))で補助用ねじ穴を使用して固定してください。

■天井に取り付ける場合、落下しないように確実に固定してください。

■VPパイプやFY-PAP041, FY-PAP061に取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

3 試運転

電源スイッチ(別売品)

入	運転するとき。
切	停止するとき。

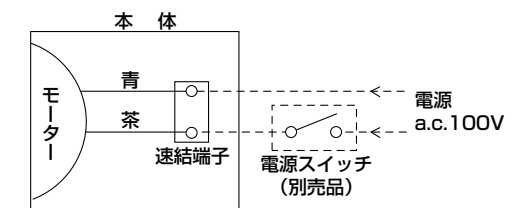
電源スイッチ(別売品)を「入」にして運転し、異常がないか確かめる。
●羽根が回っていますか?
●異常な振動・騒音がありませんか?

※パイプファンを常時換気で使用する場合は、スイッチに付属の「24時間換気お願いラベル」をスイッチまたはスイッチの近くに貼ってください。

※ルーバーを取りはずしたとき、ダクト内に気密リングが見えていないことを確認してください。

(本体をパイプに何回も出し入れをおこなうと、気密リングがはみだし、十分に換気できないおそれがあります)

結線図



■電源スイッチを使用する場合、FY-SV05W(別売品)をご使用ください。市販のパイロットランプ付きの電源スイッチには、消費電力10W以下の製品ではパイロットランプが点灯しないものがあります。